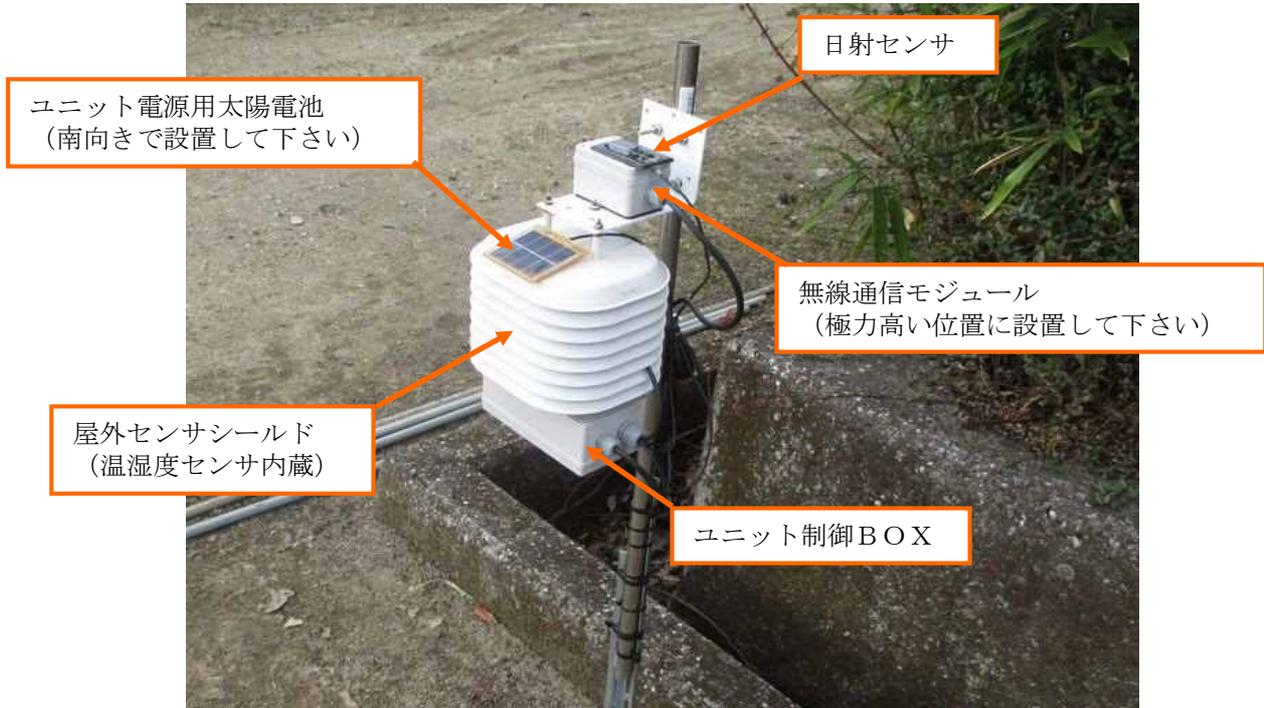


# 屋外気象センサユニット

## 1. 設置例と各部の、名称



## 2. 設置、取り扱い時の注意事項

- ①本ユニットは太陽電池と蓄電池（ユニット制御BOXに内蔵）で作動します（電源レス）。  
このため、本ユニットは日当たりの良い場所で、太陽電池が南向きになるように設置して下さい。  
また、季節によって太陽の軌道が変化するため、設置の際には建物等の陰にならないように十分注意してください。
- ②台風等の暴風雨の際は、本ユニットを取り外して保管して下さい。取り外しが困難な場合はビニール袋で覆うとともに、本体が揺れたり、倒れたりしないようしっかり固定して下さい。
- ③太陽電池及び日射センサの表面が汚れた場合は、水に濡らした柔らかい布等で汚れを拭き取って下さい。
- ④本ユニットは、データ収集ユニットと通信しますので、データ収集ユニットと通信できる場所に設置して下さい。
  - ・両ユニット間に通信を遮断する建物、構造物、植物等が無いこと
  - ・両ユニット間がおおよそ100m以内であること
- ⑤太陽電池に日が当たらない状態が長期間続いた場合は、蓄電池の電圧が低下して屋外気象センサユニットが停止する場合があります。その時は、一旦、起動スイッチをOFFとし、太陽電池に光を当てて蓄電池を充電（半日程）してください。その後、使用開始時の手順で起動してください。（次ページ参照）

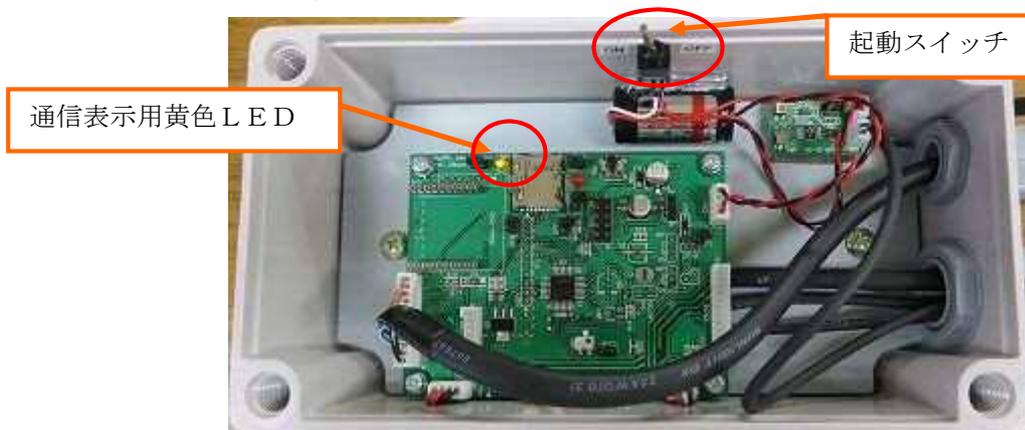
### 3. 使用開始時及び使用停止時の操作及び注意事項

<使用開始時>

- ①ユニット制御BOXの蓋を開けて、起動スイッチをONにします。
- ②通信表示用黄色LEDが点灯後、30秒ほど点滅するのを確認してください。その際、データ収集ユニットを介して屋外気象センサユニットの各計測値が表示されることを確認してください。  
(正常な通信が出来ている時は通常1分間に1回黄色LEDが点滅するようになります。)
- ③ユニット制御BOXの蓋を閉じて、屋外気象センサユニットを支柱等に固定してください。

<使用停止時>

- ・使用停止時には、ユニット制御ボックス内の起動スイッチをOFFにしてください。
- ・起動スイッチをOFFにせず長期間保管した場合は、蓄電池の電圧が低下して屋外気象センサユニットが起動しなくなる場合があります。その時は、一旦、起動スイッチをOFFとし、太陽電池に光を当てて蓄電池を充電(半日程)してください。その後、使用開始時の手順で起動してください。



### 4. 日射センサの校正

日射センサは調整済みですが、日射測定を品質良く維持するためには、全天日射計を用いて校正することを推奨します。ユニット制御BOX内の日射センサ校正用ボリュームを精密ドライバ(一)で回転(右回転:+側、左回転:-側)することで日射センサの値を校正できます。



#### 【基本仕様】

- ・電源 : 小型太陽電池+Li-ion 電池
- ・温湿度センサ : 1点(本体内蔵)
- ・日射センサ : 1点(本体付属)
- ・外付温度センサ : 16点接続可能(センサは別売)
- ・降雨センサ : 1点(センサは別売)
- ・外形 : 280mm×210mm×190mm

以上